

嚙下障害者と健常者の嚙下音の特徴分析
(研究の進捗発表)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-05-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 高馬, 大輝, 藤田, 祥太, 西村, 雅史 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10297/00027463

嚥下障害者と健常者の嚥下音の特徴分析

高馬大輝(情報科学科), 藤田祥太(情報学専攻), 西村雅史(学術院情報学領域)

本研究は嚥下障害者と健常者の嚥下音からの特徴抽出を目的とし各嚥下音データを分析した。健常者の判断はオーラルディアドコキネシスによる評価に基づく。過去の研究から嚥下段階は9段階に分類されることが報告されており、その内喉頭・咽頭部の主要な筋群が連動して動作する2-4段階の周波数成分を用いて主成分分析を行った。分析結果を第1, 2主成分平面上に描画したところ正常嚥下にまとまった分布が見られた。また各主成分における周波数成分の寄与度に着目すると1000Hz以下の周波数成分でほとんど説明できていることが確認できた。1000Hz以下の周波数成分に限って分析を行うことでより明確に嚥下障害者と健常者を分類できる可能性がある。